

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

社会人選考

研 究 科	専 攻	試 験 科 目	参考書等持込
法学研究科	法学専攻	小論文Ⅰ（志望専修科目の基礎）税法研究Ⅱ	不可

課税要件法定主義の意義と委任立法について、論ぜよ。

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

社会人選考

研 究 科	専 攻	試 験 科 目	参考書等持込
法学研究科	法学専攻	小論文Ⅱ（志望専修科目の基礎）税法研究B	不可

法人税法 22 条 2 項に規定する「益金」について、知るところを述べよ。

令和 8 年度 国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	法学研究科 法学専攻
試験期別	Ⅲ期
試験区分	社会人選考
試験科目名	税法研究 BⅠ・Ⅱ(小論文)

■出題の意図

租税法総論及び実体法についての基礎知識力を確認する。

■採点のポイント

I

- 1 憲法 30 条、84 条
- 2 租税法律主義
- 3 課税要件
- 4 実体法との関係
- 5 委任立法の限界

Ⅱ

- 1 法人税の所得計算
- 2 権利確定主義
- 3 無償取引、低額取引
- 4 同条 4 項との関係
- 5 同法 22 条の 2 との関係